

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|-----|--|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学において学習及び研究をス据える上で必須の学習スキルを修得すること ・英語教師に求められる思考様式、社会的責任、専門的知識、英語の運用能力などに関して理解できること ・高等学校教諭一種免許状(外国語科英語)の取得に向けた情報収集ができること |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「英語科教育入門」とおして、英語教育の対象領域と重要な課題について理解することができる ・英語教師に求められる人生観、職業観、学校観、生徒観などを把握できること ・英語教師になるための意欲と決意を確認できること ・英語教師としての適性を自己判断できること |
| 2年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「英語学Ⅰ」と「英語学Ⅱ」をおして、英語の構造(音声学と統語論)に関する専門的な知識を修得できること ・「英語科授業実践研究Ⅰ」をおして、英語教育のカリキュラムならびに英語の授業を記録・観察・分析・評価するための方法論的な知識を修得することができる |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・「英語学Ⅱ」と「英語学Ⅳ」をおして、英語の構造(音韻論、形態論、意味論、語用論)に関する専門的な知識を修得できること ・「英語科授業実践研究Ⅱ」をおして、英語教育のカリキュラムならびに英語の授業を記録・観察・分析・評価するための実践的な技能を修得することができる ・英語を用いて授業を行うことができるよう、英語教師に求められる基本的な英語の運用能力を修得することができる |
| 3年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・就学前英語教育及び小学校外国語活動における教材作成と指導方法に関する幅広い知識を修得することができる ・「英語科教育法Ⅰ」で学習指導要領について基本的な事柄を理解することができる ・「英語科教育法Ⅲ」で実践的な指導技術を修得することができる ・高等学校で扱う言語材料(文構造、語彙、文法事項など)と言語活動に関する具体的な事例を準備することができる |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の英語の教科書を分析することができる ・「英語科教育Ⅱ」で、模擬授業を設計し学習指導案を作成できるとともに、一単位50分の中学校の英語の授業を実施することができる ・「英語科教育法Ⅳ」で授業を評価するための基本的な知識を修得することができる ・「英語教員養成研修」をおして、英語教師に求められる幅広い教養を修得することができる |
| 4年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の執筆をおして、英語教育に関する認識を深めることができる ・「現代英語Ⅰ」「比較言語学Ⅰ」「比較文化Ⅰ」などをおして、英語使用圏と母語及び自文化の言語的・文化的な特徴を多面的に比較することができる ・教育実習を通じて、英語の実践的な指導能力を修得することができる |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文を完成させることにより、今まで取り組んできた英語教育の課題について最終的な結論を導き出すことができる ・「現代英語Ⅱ」「比較言語学Ⅱ」「比較文化Ⅱ」などをおして、英語使用圏と母語及び自文化の言語的・文化的な特徴を正確かつ詳細に把握することができる ・教育実習を振り返ることにより、英語教育の諸相に関する理解を深めるとともに、英語教師としての自己の強みと弱点を客観的に把握することができる ・教員として社会に出るために身につけておくべき知識や技能の確実な獲得を果たすことができる |